

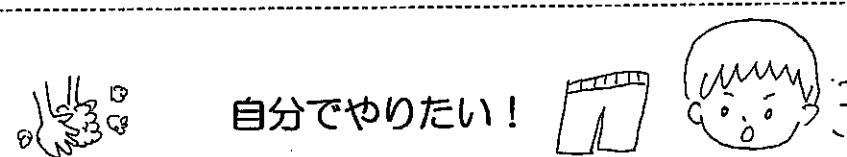
1月

いちごぐみだより



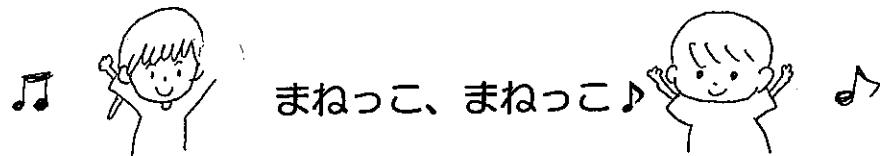
2020年1月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

気持ちの良い天気と共に新しい年が始まりました。今年度は感染症拡大により例年以上の不安があったことと思います。そんななかでも子どもの成長は止まりません。保育園では、子どもたちが安心し健康に過ごせるよう、清潔な環境で温かく見守りながら様々な経験を積んでいけるようにしていきたいと思います。



手洗いや着替え、食事といった生活の面で「自分でできる!」「自分のペースでやりたい!」という気持ちが芽生えています。保育者が手を添えると振り払い、一生懸命ズボンに足を入れようとする姿には、もう赤ちゃんらしさはありません。足を通せたと思ったらまた抜けてしまって思うようにできないこともあります。そんなとき、私たちは「難しかったら手伝うね」「手伝ってほしかったら言ってね」と言葉を掛けながら見守っています。できると信じてもらっているという実感と、もしできなくても助けてもらえるという安心感を得ながら思い切り挑戦することで少しづつ成長していく子どもたち。できたときは目を合わせて「できたね」「うれしいね」と一緒に喜びます。

もちろんまだまだ大人の手が必要なことが多いのですが、これからもやりたい気持ちがあるときはそれを尊重して、さり気なくお手伝いしていきたいと思います。



保育者の動きや言葉をよく見聞きしている子どもたち。最近はまねっこブームです。保育者がしゃがんで「1, 2の…3!」と飛び上ると一緒にジャンプしたり四つ這いで部屋の端から端へ移動したり♪一緒に動くこと自体を楽しむ子、同じ動きができることを喜ぶ子、単純に身体を動かすことが嬉しい子など、それぞれの楽しみ方で自由に参加しています。少しづつ複雑な動きしていくと、細かいところまで真似して目を輝かせる姿はとても可愛らしいです。

入園当初、お座りが安定しなかった姿やよちよち歩きだった頃に比べて、今では筋力がついて身体の動かし方も安定してきたことがよく分かります。できるようになったことが遊びに繋がるこの時期を大切にし、全身を使って遊ぶことで心身の発達を促し、遊びの幅も広げていけたらと思います♪

~まねっこあそび紹介~



☆おねがい☆

☆持ち物の記名が薄くなっていますか?クラスには担任以外の保育者が入ることもありますので、分かりやすい場所に記名をお願いします。